

第1号様式（総括）

口座名									
都道 郡市 町									
府県 区 村 番地									
索引番号									
異動 年月日	区分	種目	増額		減額		現在額		備考
			数量	価格	数量	価格	数量	価格	
				円		円		円	
（日本産業規格B4）									ページ

記載要領

- 1 1の口座ごとにつける。ただし、1の口座が1葉のときは、これを省略することができる。この場合においては、調整要領第12項による区分表示欄を赤線で囲むものとする。
- 2 1の口座に属する財産を、国有財産区分種目表に定める区分、種目の順序に従って計上し、末尾に価格の計をつける。増減を記入する場合は、そのつど前段の順序に従って記入するとともに、増減のあつた種目の現在額欄の数量、価格を差引記入する。
- 3 所在欄には、都道府県郡市区町村大字字地番を記入する（2以上の地番があるときは、その主要なものを記入する。）。ただし、これにより難いものは、便宜の方法によつて適宜記入することができる（以下各葉の所在欄の記入について同じ。）。数量単位が2以上に及ぶものは、数量欄を適宜区分して相当欄を設ける。
- 4 備考欄には、必要により、増減のあつた各葉のページ数を記入する。
- 5 年度を経過することに横線を画し、前年度末に存した財産の区分、種目を改記のうえ、その年度間における増減額を種目別に集計して記入するとともに、これを前年度末現在額から差し引いて現在額欄に記入する。ただし、その年度間に増減のなかつたときは、これを省略する。
- 6 第1項により総括を省略した場合には、各葉において、前段に準じて整理する。